

## 平成27年度研究科入試問題（第1次）

### 日本史（出題意図）

（人文社会科学研究科言語・社会文化専攻社会文化コース）

1

日本史上の基本的で重要な問題についての知識、理解と論理的表現力を問う問題である。

- (1) 日本古代・中世史でくり返し研究されてきた重要な論点である「武士の成立」について、その研究動向をふまえた知識と理解、論述力量を問う問題である。
- (2) 戦国期から江戸初期にかけての軍事編成と知行制との関わりについて、基礎的な理解と論述力量を問う問題である。
- (3) 日本近代政治史・軍事史上の重要な要素である軍部について、その歴史的理解のと論述力量を問う問題である。

2

日本史研究に必須の史料の読解力、分析力を問う問題である。本題は、内閣総理大臣を務めた原敬の政治運営の基本的考え方が端的に記述された1920年2月20日の日記（『原敬日記』）の一節を提示し、普選運動に対する基本的な対抗方針を読み取れるかどうかを問う問題とした。

出典は、『影印原敬日記』第15巻、北泉社、1998年、254～255ページ

3

日本史上の重要事項についての基礎的知識の有無を問う問題である。

- ①古代律令国家の官僚制度の基本原則である「官位相当制」に関する基礎的知識と理解を問う。
- ②古代律令国家は、律令格式の成文法体系によって構築され、運用されていた。その基本法の1つである式を集成した「延喜式」についての基礎的知識と理解を問う。
- ③中世前期、とくに鎌倉時代初期の最重要人物の1人である「後鳥羽上皇」についての基礎的知識と歴史的位置づけを含む理解を問う。
- ④「私徳政」について解説させることによって、中世における所有の観念や土一揆などの民衆運動に関する知識を問う。
- ⑤「西廻海運」について解説させることによって、近世前期に整備された代表的な航路と、近世における海運による流通の仕組みに関する知識を問う。
- ⑥「武州一揆」について解説させることによって、幕末の代表的な民衆運動に関する知識を問う。
- ⑦明治初年の新政反対一揆の1つである「血税一揆」についての基礎的知識と歴史的理解を問う。
- ⑧「大逆事件」の刑法上の意味と歴史上の事例についての知識を問う。